

2023 年度 相談センター 事業報告（案）

1. 活動の概要

相談センターでは、社会福祉の援助を必要とする大阪府民の生活と権利を擁護するため、公益的援助活動を行い各事業はリモートを活用しつつ対面での研修も行い、会員の成年後見活動支援と第Ⅱ期利用促進計画の専門職相談派遣等の権利擁護活動・虐待研修・虐待専門職派遣等にも協力してきた。

2. 活動内容

（1）運営委員会

①奇数月の第3火曜日に開催（6回実施）

5/17、7/18、9/19、11/21、1/16、3/19

②ばあとなあ登録会員承認 28人（総数 584人 2022年度 571人）

③辞任承認件数 43件（2022年度 31件）

④成年後見受任等にかかる少額報酬への補填金申請承認

56件 総額 4,919,300円（参考2022年度 69件、6,829,959円）

⑤業務監査の実施（成年後見活動の適切な実施のチェック）

実施日： 6月2日（対面開催）

業務監査委員：相談センター長、運営委員長、外部委員3人

（2）相談センター組織見直しプロジェクト

大阪社会福祉士会のばあとなあの組織見直しプロジェクトを立ち上げ、現在協議中である。

人材育成研修の際に使用している規則等についても見直しを行っている。

（3）ばあとなあ報告書 IT化2年目

ばあとなあ報告書の取りまとめ・会員管理入力 of IT化2回目を迎えた。

3月24日に何とか活動報告書確認を班長の協力で全て確認する事は出来た。

しかし、システム利用が困難な会員への対応や、報告書内容の修正や確認などシステム上の課題は残っている。

3. 評価とまとめ

社会福祉士としての権利擁護・公益的援助活動は変わらず依頼があり、虐待専門職派遣・中核機関協議会への専門職派遣要請は増えている。反面、ばあとなあの成年後見活動に対する苦情相談やヒアリングも増えている現状がある。コロナが5類に移行されたにも関わらず月1回面会に行かれていない会員もおられ、2月報告からは残念な現状も見えてきている。

倫理綱領・行動規範の認識を再度促す目的で必須・継続研修を各1回義務づけていたが、それも参加出来ていない会員が多くおられる事は残念である。引き続き啓発を行っていく。

4月から家裁への後見報告書の様式の変更もあり、市民後見人へのリレーが促進されて行く。

報酬を頂く専門職として意識し活動して頂ける様にお願い致します。

相談センター基金の原資については、寄付額は増えており、会員にとって少しでも活動し易い様に

活用出来る様に検討していきたい。

2023 年度 相談センター相談部会事業報告（案）

1. 活動の概要

相談センターの目的を達成するために、専門相談、成年後見受任者等の支援、スーパーバイザー養成・研修に関することを行う。

成年後見受任者が約 570 人規模となり、成年後見受任者等の支援業務が増大している。

2. 活動内容

（1）6 回実施、Zoom 実施

4/25、6/16、8/18、10/20、12/15、2/16

（2）啓発事業（各年 1 回実施）

①「市民のための成年後見制度の活用について（講座と相談会）」

12 月 2 日 講座・個別相談会 実施

②第 21 回「医療・福祉関係者のための成年後見活用講座（基礎編）」

2 月 3 日 実施

内容：成年後見制度について～医療・福祉関係者が関わる内容を中心に～
内容を大幅に見直し、新たな事例を作成 グループワーク実施

（3）相談センター登録相談員支援

①登録相談員現任研修（Zoom）

今年度は未実施

（4）成年後見受任者支援

①成年後見受任者支援班会議

毎月第 1 月曜日開催（12 回 Zoom 実施）

4/4、5/2、6/6、7/4、8/1、9/5、10/3、11/7、12/5、1/15、2/3、3/4

②相談センターぱあとなあ成年後見人名簿登録者（584 人 13 班体制）

③受任調整

受任調整会議（支援班・毎週実施／SV・月 1 回実施）

依頼元等	対応件数		調整状況	
	昨年度繰越	新規依頼	調整済	未調整繰越
家裁	18	128	133	13
大阪市	1	84	83	2
堺市	0	4	4	0
辞任選任	2	45	45	2
計	21	261	265	17

④相談・苦情

46 件（内部 34 件、外部 12 件）（2022 年度 72 件（内部 54 件、外部 18 件））

⑤後見人名簿登録者研修（省略：継続研修；継続、交流会；交流、班会議；班）

実施日	区分	テーマ	場所	参加者数
4/20	必須	倫理綱領・行動規範について	対面	174
5/20	必須	倫理綱領・行動規範について	対面	296
6/15	継続	被後見人死亡後の事務について	Zoom	126
7/1	必須	倫理綱領・行動規範について	対面	50
7/20	継続	医療同意について	Zoom	122
8/17	継続	金銭とトラブルについて	Zoom	109
9/16	継続・班	医療同意と医療機関との関わりについて・市民後見人について・班会議	Zoom	38
10/19	継続	意思決定支援について	Zoom	87
11/16	継続	法的な課題のある被後見人の支援について	対面	61
12/21	継続	リスクマネジメントについて	Zoom	114
1/20	継続・班	ばあとなあ報告書について 班会議	Zoom	

* 新型コロナ感染対策として、成年後見人名簿登録者更新基準を一部見直しし、年度内に所定の必須研修継続研修各 1 回の受講を条件とした。

* 未受講者にはレポート課題提出を求めた。

⑥成年後見人材育成研修及び成年後見人名簿登録研修 Web 開催により 1 回実施

人材育成研修 7/8、7/22、8/19、9/2（ 32 名修了）

名簿登録研修 9/24（ 36 名修了）

⑦名簿登録者高齢化問題対応

2023 年 12 月末現在、70 歳以上の会員に対して、ヒアリングを実施することを制度化し受任状況・健康状態・総合支援型後見監督人の受任意向、スキルを活かした会への活動協力の有無等を聞き取る。

（5）スーパーバイザー会議及び虐待対応支援

①定例会議は毎月第 4 木曜日（事例検討、支援班長との合同会議等）11 回

4/28、5/28、6/23、7/27、8/24、9/22、10/27、11/24、1/25、2/7、3/28

対面での開催を行い出来る限り事例検討を行った。

②高齢者・障害者虐待対応専門職チーム派遣（契約市町村に派遣）

実績：高齢（ 43 件）、障害者（ 14 件）

③大阪弁護士会との合同勉強会（11 月 24 日大阪弁護士会館）

④市町村高齢者虐待対応研修（大阪府委託事業）

基礎研修 YouTube 配信

参加者 301 名

- | | |
|---------------------|----------|
| 管理者研修 対面開催 | 参加者 36 名 |
| 現任者研修（養護者）対面開催 | 参加者 86 名 |
| 現任者研修（養介護施設従事者）対面開催 | 参加者 16 名 |
- (6) 市町村の成年後見制度利用促進会議等への委員推薦
 大阪市、堺市、八尾市、東大阪市、豊中市、枚方市、交野市、岸和田市、吹田市、
 泉南市・田尻町、泉佐野市、富田林市、河内長野市、和泉市
- (7) 市民後見人担当者会議
 奇数月の第 3 木曜日（6 回 Zoom 実施）5/19、7/21、9/15、11/17、1/19、3/16
 市民後見人専門相談等派遣の事例検討及び情報交換 利用促進市町村状況の共有
- (8) 家庭裁判所との三士会連絡協議会
 意思決定支援研究会への参加
 適切な後見人等の選任・交代の推進に関する協議会
 マッチング勉強会
- (9) 家庭裁判所と本会の協議会 3 月 21 日
- (10) 近畿ブロックばあとなあ担当者会議 10 月 14 日対面にて開催
- (11) 日本社会福祉士会 後見委員会・体制整備・不正防止委員への派遣（ZOOM）
- (12) スーパービジョン実施 年 6 回のセッション 13 人のスーパーバイザーが参加終了
- (13) 府民相談 4 件（訪問 2 件・来局 2 件）

3. 評価とまとめ

ZOOM での会議も行うが、対面での必須研修や班会議も開催した。後見受任調整を SV に月 1 回協力して貰う事で何とか受任を出来る限り遅れない様にと努力した。社会福祉士の受任について困難な保佐・補助類型が増えており期待が大きくなってるが、仕事と併用しての後見人活動は難しく増やせないと言われる方が居られる中で、市民後見人にリレーを進める等の支援を行い今後も出来る限り最低 3 人までは受任頂ける様にお願いして受任要請に応えて行きたい。

2023 年度 相談センター総務部会・相談センターソーシャルインクルージョン部会

2023 年度も組織再編を検討する過程の中で、部会の活動としては休務することとなった。